

H29病床機能報告と必要病床数を比較し「過剰」となる機能を増床する場合の理由等

【千葉保健医療圏】

No.	医療機関名	H29病床機能報告と2025年の方針の比較										理由	
		高度急性期 (不足)		急性期 (過剰)		回復期 (不足)		慢性期 (不足)		計			休棟等
		2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025		
1	独立行政法人国立病院機構千葉医療センター	8	6	402	404					410	410		高度急性期機能から急性期への振り替え
2	千葉県がんセンター	11	16	305	381	25	53			341	450		千葉県がんセンター新棟建設に伴う病床の整備計画に基づき、千葉県医療審議会病院部会の意見聴取の結果、千葉県知事により病床の配分(増床)があったもの。
3	医療法人緑栄会三愛記念病院			50	60		20	100		50	180		三愛記念そが病院(一般病床70床、療養病床60床)を併合する計画であるため、法人全体としては増加ではありません。

注) 各機能の過剰・不足は、平成29年度病床機能報告の集計値と2025年の必要病床数の単純比較であり、増床理由確認の目安としている。

「2017」欄は平成29年度病床機能報告の結果を、「2025」欄は各医療機関の2025年の見込み数を記載している。

機能転換、増床、再稼働の別によらず、「過剰」となる機能の病床数を増やす方針の医療機関を掲載している。